



報道関係者各位

アートフェア東京2020
2020年、グローバルアート市場・投資機会の拡大の中、日本市場拡大のため重要な年
「Galleries」セクションでは有名作家作品や10億円を超える作品も購入可能

東京オリンピック・パラリンピック大会開催の2020年、第15回の開催となる日本最大級のアート見本市「アートフェア東京2020」(以下「AFT2020」会期:2020年3月20日(金・祝)~3月22日(日) ※招待日:3月19日(木))には、国内外有数の147軒が出展します。グローバルアート市場・投資機会の急拡大の中、アジアの最東方に位置する日本は、地理的・歴史的にも常に世界中の芸術・文化を取り入れて、独自のアートシーンを発展させてきました。世界に先駆けて、古美術から現代アートまでが一堂に会するフェアを開催してきたAFT。今回出展する3,000点以上の作品の中には、美術館に展示実績のある有名作家の作品や10億円を超える美術品も出展され購入できます。世界から注目が集まる2020年は、日本のアート市場拡大の重要な年に位置づけられます。アジア最大のアートフェア「アート・バーゼル香港」と開催時期が重なり^{*1}、世界中のアート関係者・コレクターから注目を浴びるウィークとなります。

※1.アート・バーゼル香港2020 (会期:2020年3月19日(木) - 3月21日(土)) ※招待日:3月17日(火)、18日(水)

【2020年、グローバルアート市場とアートフェア市場、そしてアートへの投資機会が拡大する中、重要な年】

世界の美術品市場規模674億ドル(約7.58兆円)のうち、世界のアートフェア市場規模は2010年の85億ドルと比較して、約2倍の165億ドル(1.85兆円)に拡大しています(※数値「The Art Market 2018 (Art Basel & UBS Report)」。アートフェア東京の出展ギャラリー総売上は2011年以降、毎年拡大を続け、前回のAFT2019では過去最高の29.7億円を記録し、この5年間を見ると2014年の9.5億円から3倍以上に急拡大しています(アート東京:推計)。さらに、世界の美術品投資額は2016年の1兆6220億ドルから2018年は1兆7420億ドル(196兆円)となり、資産としての位置づけが高まっています。(Deloitte Art & Finance Report 2019)

*財務省「関税率法第4条の7に規定する財務省令で定める外国為替相場」を基に「平成30年12月30日から平成31年1月5日まで」の為替1ドル=112.43円を適用。

【有名作家作品が集う注目の「Galleries(ギャラリーズ)」セクション】

「Galleries(ギャラリーズ)」セクションの美術商・ギャラリーからは、美術館の展示実績もある有名作家の作品の購入が可能です。「葛飾北斎」の肉筆の名品から小品まで幅広い価格帯で出品(角匠)。印象派の時代、最先端だった「モネ」の1890年の作品など、10億円以上の価格帯が出品(みぞえ画廊)。戦後、経済のグローバル化が進み、現代アート市場は、世界の美術市場の急拡大を牽引しています。AFT2019の出展者総売上げのうち、過半数の50.8%が現代美術となり近年注目が高まっています。

AFT2020では近年アートピースとしても世界から注目され、NYメトロポリタン美術館の「日本の竹工芸:アビー・コレクション“Japanese Bamboo Art: The Abbey Collection”(2017)」展でも緻密で軽やかな造形力を発揮した「四代 田辺竹雲斎」が出品されます(Y GALLERY)。本リリースでは「Galleries」セクションの注目作家と会場レイアウトを公開します。



クロード・モネ 「牧草地、曇り空」キャンバスに油彩、60 x 100 cm (P40号) 制作年 1890年、みぞえ画廊



レオナルド・エルリッヒ「Invisible Garden」,アートフロントギャラリー



葛飾北斎「昇龍富士波濤図」天保11年(1840年)、135.4 x 37.3 cm 紙本着色、角匠



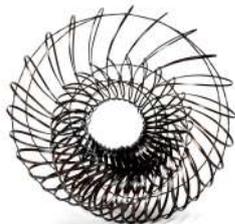
【著名な作家を出品する出展者 (ブースNoー)】

トム・サックス	小山登美夫ギャラリー (G01)
モネ	みぞえ画廊 (G34)
塩田千春	KENJI TAKI GALLERY (G38)
田辺竹雲斎	Y GALLERY (G42)
レアンドロ・エルリッヒ	アートフロントギャラリー (G43)
倉俣史郎	ときの忘れもの (G49)
パブロ・ピカソ	ルートギャラリー (G51)
篠原有司男	ANOMALY (G69)
葛飾北斎	角匠 (G76)
井上有一	かみ屋 (G109)
藤田嗣治	日動画廊 (G113)
ヘルマン・ニッチェ	ボヘミアンズ・ギルド (G117)
有元利夫	永善堂画廊 (G119)
熊谷守一	柳ヶ瀬画廊 (G120)

【注目の作家を出品する出展者 (ブースNoー)】

リカルダ・ロツガン	アンドーギャラリー (G13)
エキソニモ	WAITINGROOM (G14)
Andres Barrioquinto	ART UNDERGROUND (G18)
Moeco	ギャラリーオリム (G19)
アーロン・ガーバン マイコブスカ	MASAHIRO MAKI GALLERY (G22)
金巻芳俊	FUMA Contemporary Tokyo 文京アート (G24)
新木友行	ギャラリー インカーブ 京都 (G36)
野口哲哉	ギャラリー玉英 (G37)
藤原 更	エモン・フォトギャラリー (G39)
前原冬樹	古美術 鐘ヶ江 (G45)
塚本智也	川田画廊 (G48)
Kim Kee Tae	Gallery MARK (G50)
服部真紀子	水戸忠交易 (G72)
村上裕二	靖雅堂 夏目美術店 (G79)
久住有生	花田美術 (G83)
東園基昭	三溪洞 (G84)
フィリップ・コルバート	Sho+1 (G94)
桑田卓郎	KOSAKU KANECHIKA (G102)
Yao Kaa	Yavuz Gallery (G103)
ロッカクアヤコ	GALLERY TARGET (G115)

※全出展リスト <https://artfairtokyo.com/2020/exhibitors>



Tanabe Chikuunsai IV 『DISAPPEAR VII』
Y GALLERY



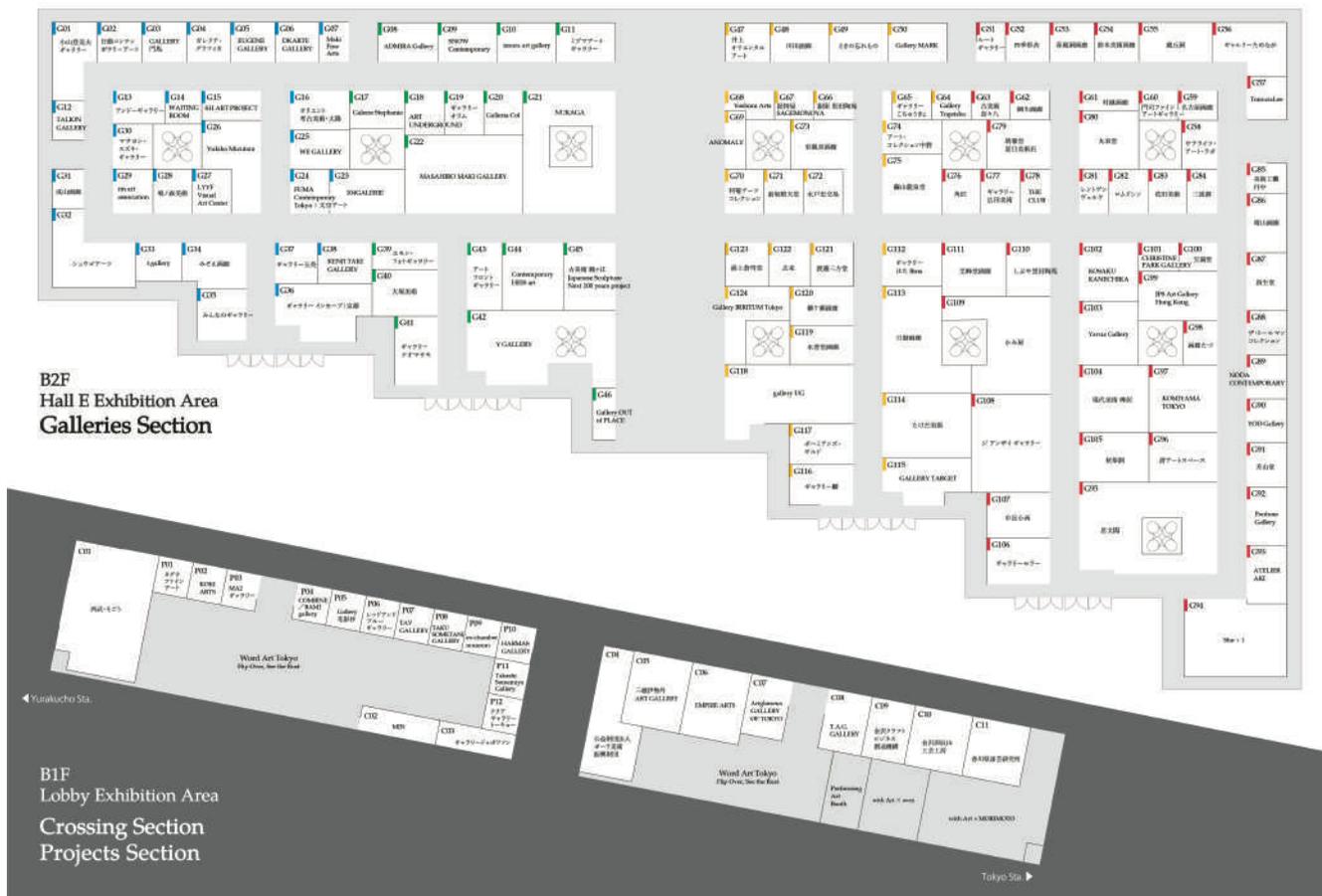
篠原有司男, 『Green & White on Purple』, 2012年, キャンバスにアクリル,
Photo by 木奥恵三, Courtesy: ANOMALY, c 篠原有司男]



『アトラス像』バキスタン ガンダーラ、紀元3-5世紀
オリエント考古美術・太陽



[AFT2020 会場 MAP]



AFT2020 会場 MAP はこちらからダウンロード出来ます。(PDF)
<https://artfairtokyo.com/press/166/pdf>

【出展数】

全 147 軒 (国内 133 軒、海外 14 軒) ※企業ブースを除く
 「Galleries」 124 軒、「Crossing」 11 軒、「Projects」 12 軒

【初出展】

「Galleries」 (12 軒)

ADMIRA Gallery / ANOMALY / アートフロントギャラリー / ATELIER AKI / ギャラリー はた Bros.
 Contemporary HEIS art / 門司ファインアート / Pontone Gallery / ルートギャラリー
 WE GALLERY / Y GALLERY / Yavuz Gallery

「Crossing」 (2 軒)

EMPIRE ARTS / MIN

「Projects」 (3 軒)

KOKI ARTS / レッドアンドブルーギャラリー / TAKU SOMETANI GALLERY

【参加都市】

国内：16 都市

札幌、高崎、東京、富山、金沢、福井、軽井沢、岐阜、名古屋、京都、大阪、神戸、芦屋、奈良、高松、福岡

海外：13 都市 ※支店含む

シドニー、ソウル、マニラ、シンガポール、ニューヨーク、ロサンゼルス、パリ、ボゴタ、ロンドン、香港、深圳 (シンセン)、台北、北京



「アートフェア東京2020」開催概要

2019/12/20

名称:	アートフェア東京2020	
企画内容:	国内外コマースギャラリーによる美術品の展示及び販売	
開催日程:	2020年3月19日(木) - 22日(日) ※3月19日(木)は招待制	
※最終入場は各日終了30分前	プレスビュー	3月19日(木) 13:00 - 14:00
	プライベートビュー	14:00 - 16:00
	ベルニサージュ	16:00 - 20:00
	パブリックビュー	3月20日(金・祝) 11:00 - 20:00
		3月21日(土) 11:00 - 20:00
		3月22日(日) 11:00 - 17:00 ※開催日時全て予定
会場:	東京国際フォーラム ホールE / ロビーギャラリー(東京都千代田区丸の内3-5-1)	
出展者数:	Total 147 軒 Galleries 124 軒 Projects 12 軒 Crossing 11 軒	
予想入場者数:	60,000人	
入場料:	前売券 1-Day パスポート4,000円(税込) 当日券 1-Day パスポート5,000円(税込) 小学生以下は、大人同伴に限り入場無料	
主催:	一般社団法人 アート東京 / テレビ東京 / BSテレビ東京 / 株式会社電通	
企画:	アートフェア東京2020実行委員会	
企画協力:	東方文化支援財団	
後援: ※随時更新	内閣府 外務省 経済産業省 厚生労働省 文化庁 観光庁	
	アフガニスタン・イスラム共和国大使館	アンゴラ共和国大使館
	アルメニア共和国大使館	オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム
	ベリーズ大使館	ベナン共和国大使館
	ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館	ボツワナ共和国大使館
	ブリティッシュ・カウンシル	ブルネイ・ダルサラーム国大使館
	ブルキナファソ大使館	在日本カンボジア王国大使館
	中華人民共和国駐日本国大使館	コロンビア共和国大使館
	クロアチア共和国大使館	キューバ共和国大使館
	デンマーク王国大使館	ジブチ共和国大使館
	コンゴ民主共和国大使館	エクアトル共和国大使館
	エルサルバドル共和国大使館	エリトリア国大使館
	フィジー共和国大使館	フィンランド大使館、東京 / フィンランドセンター
	ジョージア大使館	ドイツ連邦共和国大使館
	ギリシャ大使館	グアテマラ共和国大使館
	ハイチ共和国大使館	ホンジュラス共和国大使館
	アイスランド共和国大使館	インドネシア共和国大使館
	イラク共和国大使館	アイルランド大使館
	イタリア大使館	ジャマイカ大使館
	韓国大使館 韓国文化院	クウェート国大使館
	ラオス人民民主共和国大使館	レバノン共和国大使館
	リビア大使館	リトアニア共和国大使館
	マラウイ共和国大使館	マレーシア大使館
	マリ共和国大使館	マーシャル諸島共和国大使館
	メキシコ大使館	モルドバ共和国大使館
	モロッコ王国大使館	モザンビーク共和国大使館
	ナミビア共和国大使館	オランダ王国大使館
	ナイジェリア連邦共和国大使館	北マケドニア共和国大使館
	オマーン・スルタン国大使館	パキスタン・イスラム共和国大使館
	パナマ共和国大使館	パラグアイ共和国大使館
	フィリピン共和国大使館	ポルトガル大使館
	サモア独立国大使館	サンマリノ共和国大使館
	セルビア共和国大使館	シンガポール共和国大使館
	スロベニア共和国大使館	南アフリカ共和国大使館
	スウェーデン共和国大使館	スイス大使館
	タイ王国大使館	東ティモール民主共和国大使館
	トンガ王国大使館	チュニジア共和国大使館
	ウガンダ共和国大使館	ウクライナ大使館
	ウルグアイ東方共和国大使館	ウズベキスタン共和国大使館
	ベトナム社会主義共和国大使館	ザンビア共和国大使館
	アルゼンチン共和国大使館	ベルギー王国大使館
	ボリビア多民族国大使館	ブラジル大使館
	ブルガリア共和国大使館	チリ共和国大使館
	コスタリカ共和国大使館	チェコ共和国大使館
	ドミニカ共和国大使館	エジプト・アラブ共和国大使館
	エチオピア連邦民主共和国大使館	フランス大使館 / アンスティチュ・フランス日本
	ガーナ共和国大使館	ハンガリー大使館
	ギニア共和国大使館	イラン・イスラム共和国大使館
	イスラエル大使館	ヨルダン・ハシメット王国大使館
	キルギス共和国大使館	レソト王国大使館
	マダガスカル共和国大使館	モルディブ共和国大使館
	モーリタニア・イスラム共和国大使館	モンゴル国大使館
	ミャンマー連邦共和国大使館	ニカラグア共和国大使館
	ノルウェー大使館	パラオ共和国大使館
	ペルー共和国大使館	ルーマニア大使館
	セネガル共和国大使館	スロヴァキア共和国大使館
	スペイン大使館	シリア・アラブ共和国大使館
	トーゴ共和国大使館	トルコ共和国大使館
	アメリカ合衆国大使館	ベネズエラ・ボリバル共和国大使館
	ジンバブエ共和国大使館	
	北海道 群馬県 福井県 京都府 大阪府 奈良県 香川県 豊島区 富山市 金沢市 京都市	
	日本赤十字社	
	イープラス 日本経済新聞社 毎日新聞社 文化放送 TBSラジオ	
協賛:	寺田倉庫株式会社 株式会社モリモト クレディ・スイス 住友不動産株式会社	
オフィシャルパートナーホテル:	シャングリラ ホテル 東京	
オフィシャルファニチャー:	株式会社イロコデザインジャパン	
協力:	MHD モエ ヘネシー デイアジオ株式会社 瀬登 株式会社 羽田未来総合研究所 エイベックス株式会社 ArtScouter ルイスポールセン ジャパン株式会社 株式会社 丸山珈琲 アークヒルズクラブ 六本木ヒルズクラブ	
施工協力:	株式会社 八紘美術 株式会社 ケイ・スリー・クリエーション 株式会社 イーストクルー	
特別協力美術館:	東京国立博物館 東京国立近代美術館 国立新美術館 東京都現代美術館 東京都美術館 横浜美術館 群馬県立近代美術館 出光美術館 東京オペラシティアートギャラリー 戸栗美術館 原美術館 ポーラ美術館 三菱一号館美術館 森美術館 エスパス ルイ・ヴィトン東京 アーティゾン美術館 上野の森美術館 建築倉庫ミュージアム 東京ステーションギャラリー 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館	
パートナーイベント:	ART in PARK HOTEL TOKYO 2020 3331 ART FAR 2020	
ホームページ:	http://artfairtokyo.com	
問い合わせ:	一般社団法人 アート東京 〒106-0041 東京都港区麻布台1-9-12 飯倉台ビル4階 TEL : 03-5797-7912 FAX : 03-5797-7913 E-mail : info@artfairtokyo.com	
	アートフェア東京2020は「日本博参画プロジェクト」及び「beyond 2020プログラム」です。	